

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイワレジデンス高槻 新築	階数	地上11F
建設地	高槻市芥川町2丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	72人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年6月25日
敷地面積	880㎡	作成者	株式会社 浅沼組 一級建築士事務所
建築面積	576㎡	確認日	2019年6月25日
延床面積	4,156㎡	確認者	株式会社 浅沼組 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	138
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	92
④上記+	138

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.5
耐用性	2.9
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.4
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 建物内に集会所を設置し、住民の憩いのスペースの確保や、敷地内にプレイロットを設け、高木の計画など積極的な緑地の計画をして、緑豊かで居心地の良い住居になっている	その他 特に無し	
Q1 室内環境 居室内は十分な自然換気ができ、内装材はほぼ全面にF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 耐用年数の高い配管材、内装材を使用、各居室にCat.5eの高度通信設備を採用している	Q3 室外環境(敷地内) 出来る限りの緑地を計画し、プレイロットを設け住民に憩いの場を提供している
LR1 エネルギー LED照明の採用	LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用、躯体と仕上げ材が容易に分別可能な設計になっている	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率 90%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0053

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ダイワレジデンス高槻 新築工事					
	建設地	高槻市芥川町2丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.7	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		